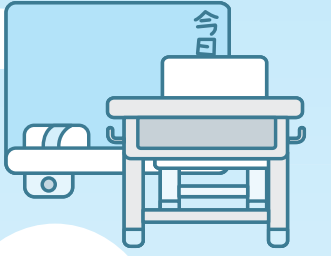


平成22年4月開校予定の 新しい小学校の 計画案がまとまる!



現在、町にひとつある開成小学校は、通う子どもたちが1000人を超えるマンモス校になっており、今後さらに子どもたちが増えていくことが予想されています。そこで、平成22年4月に新しい小学校を建てることにしました。これまで、住民の皆さんのご協力を得て準備を進めてきましたが、このたび、新しい小学校の計画案がまとまりましたのでお知らせします。

今回の特集は、小学校高学年の子どもにわかってもらえるように編集しています。

教育総務課 ☎84-0324

これまでのあゆみ

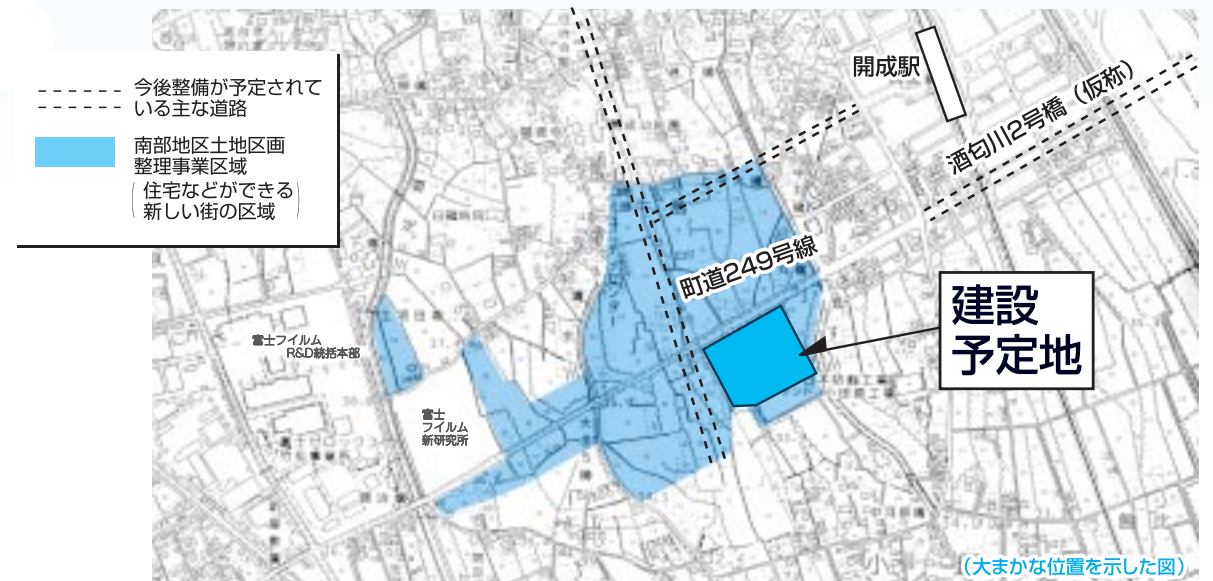
開成町学校施設等建設委員会(住民の皆さんの代表で構成された委員会)などでは、どのような学校を建てるか、町にふさわしいデザインは何かなどを話し合いました。

新しい小学校に通うのは、宮台、牛島、中家村、下島、パレットガーデンに住む子どもたちを予定しています。

新しい小学校は 南部地域に建設

新しい小学校は、町が新しい街づくりを進めている南部地域に建てます。

建てる場所は、小田急線開成駅から歩いて5分くらいの南足柄市に向かう町道249号線沿いにあります。土地を所有しているかたや地域の皆さんのご理解、ご協力を得て、この場所に学校を建てられるようになりました。



みんなの夢を かなえる学校に

7年発生、最大震度7程度程度の地震が起きても大丈夫なつくりになります。

二階建ての校舎なので、建物の揺れが少なくなり、外に避難しやすくなっています。

○体育館は、電気が止まっても発電する車や機械をつないで、電気を使うことができます。

また、防災無線に必要な設備なども備えます。

さんにも使いやすい「だれでもトイレ」を用意します。そのほかにも、段差をなくしたり、廊下を広くしたりします。

校舎は 二階建て

新しい小学校は、子どもたちの安全・安心を守るために二階建てにしました。全国的に見ても校舎をすべて二階建てにするのはとても珍しいことです。

また、富士山や箱根の山並みにあうよう、校舎の色を薄いクリーム色にすることで周りの風景と調和するようになりました。

災害時には地域の 避難場所に

地震、洪水などの災害が起きたときには、地域の皆さんの避難場所になります。

○校舎の中の多目的ホールは、避難した人たちに食事が提供できるようになります。

地域の 皆さんにも開放

新しい小学校は、子どもたちだけでなく、地域の皆さんにも施設を開放します。さまざまな学習やスポーツ、文化活動の場として、平日の夜や学校の休みの日などに、多目的ホール、体育館、グラウンド、プール(夏休みの期間)などが使えます。

校舎や 施設の内容

▼(校舎の中)
普通教室24室、特別支援学級用教室2室、特別教室(理科室、音楽室、メディアセンタ―、家庭科教室、工作教室、多目的ホールなど)をつくりま

▼(体育館)
バレーボール、バスケットボールなどができる広さの体育館をつくりま

▼(その他)
夏休みにも使えるプールやサッカーができる広さのグラウンドをつくりま



安心・安心 学ぶための設備

子どもたちの安全・安心を守るため、あやしい人が学校に入らないように、監視カメラを取り付けます。

また、阪神・淡路大震災(平成



だれでも やさしい小学校

○給食の調理室では、ガスと電気のどちらかが止まっても調理をすることができます。

また、調理するための水をためる水槽をつけて、水が止まったときでも飲料水を確保することができます。

○仮設のトイレをつくるときは、プールの水を使って安心して利用できます。

だれにでも使いやすい、やさしい小学校になります。すべての人が利用できるエレベーター、夏でも過ごしやすくするためのエアコン、病気や障害のある皆